



★ みんなのウェルビーイング ★

努力はたし算、協力はかけ算

新年度が始まってから1か月が経ちました。新しい友達、新しいクラスにはもう慣れましたでしょうか。先ほど表彰を行いました。これからも五小の子どもたちの頑張りを、皆で称えていきたいと思ひます。

今日はもう一つ紹介しておきます。それは、皆さんが取り組んでいる「梅の郷貯本通帳」についてです。50冊読み終わった人は校長先生のところに持って来ることになっていますが、すでに達成した人がいます。3年2組の高原りんさん、仲田とあさん、村上カサチさんです。村上さんは何と2冊目の通帳もいっぱいになりました。本を読むと心が育ちます。学校での休み時間やお家でもたくさん本を読めるといいですね。

さて、先週から運動会日程が始まり、本番まで4週間となりました。これから体育の時間が増えると思いますが、水分補給をしっかりとしながら熱中症には気を付けて取り組んでください。そこで、これから練習をしていくにあたり、「努力」と「協力」についてお話しします。「努力しましょう」「協力しましょう」とよく言われることがあるかもしれませんが、違いはどこにあるのでしょうか。

例えば、一人の人が毎日、漢字を1つずつ覚えていったとします。すると、1日目は1つ、2日目には $1 + 1$ で2つ、3日目には $1 + 1 + 1$ で3つと、努力したことは毎日足し算として積み上げられていきます。

その努力をしている人が集まるとどうなるでしょう。頑張っている人を見ると自分も頑張ろうと思えるようになります。すると相手もさらに頑張ろうと努力をし、そこに協力が生まれます。協力し合うことで大きな力となります。これを相乗効果と言ひます。相乗効果の「相」とは、「一緒に」とか「お互いに」という意味です。そして「乗」とは、「かけ算」を意味します。ですから、1つ努力している人が2人集まると、1日目は 1×1 で1ですが、2日目には 2×2 で4、3日目には 3×3 で9と、どんどん大きくなっていきます。これが、3人になると、1日目は $1 \times 1 \times 1$ で1ですが、2日目には $2 \times 2 \times 2$ で8、3日目には $3 \times 3 \times 3$ で27と、非常に大きな力となっていきます。協力する人が4人、5人と増えると、もう数えきれない数になりますね。

努力は自分が一人でたし算のように積み重ねていきますが、努力している人同士が協力すると、かけ算のように大きな数、大きな力となっていきます。低学年の皆さんには少し難しいかもしれませんが、「努力はたし算、協力はかけ算」と言ひて、コツコツ努力をしたことは確実にたし算として積み上がり、協力すればかけ算として大きな力となるというお話です。

運動会に向けて練習する中で、始めは上手にできないこともあるかと思いますが、努力を積み重ねることで必ずできるようになります。その上で、友達と教え合ったり協力したりすることで、一人で練習するよりもすぐに上達し、思った以上にできることが増えるはずだす。是非、皆で大成功の運動会にしていきたいと思います。